

朝日連峰保全協議会 ニュースレター

発行者：朝日連峰保全協議会

■平成 28 年度 朝日連峰保全協議会 合同保全作業の報告について

今年度の合同保全作業は平成 28 年 8 月 27 日（土）に、朝日連峰オツボ峰にて実施しました。当会の合同保全作業は 9 回目（平成 20 年実証試験を含む）を迎え、オツボ峰においては平成 26 年に続き 2 回目の合同保全作業となりました。

【作業地概況】

朝日連峰オツボ峰の尾根沿い、「風衝地」と呼ばれる風が強く吹き付ける場所です。表土層がもろくなっており、流水の集中による洗掘や、踏圧による登山道の荒廃が進んでいたことから、2 年前に土砂の安定化を意図して、土留工、排水工を中心とした保全作業を行いました。

【実施スケジュール】

●8 月 27 日（土）

- 8:00 大鳥小屋集合、挨拶・班編制
- 8:15 登山開始
- 10:30 オツボ峰着（3 班に分かれ作業）
モニタリング・簡易補修作業
- 12:15 作業ふりかえり
- 13:30 下山開始
- 15:00 大鳥小屋着、解散



【出発前、渋谷代表の挨拶】

【作業内容】

今回は H26 年作業地の「モニタリング」を主目的として実施しました。3 班（1 班 1500m 付近、2 班 1530m 付近、3 班 1600m 付近）に分かれ、2 年間での作業地の変化を観察しました。その際、各班には記録係を 1 名、写真係を 1 名ずつ設定し、2 年前の作業で上手くいった箇所、改善・補修が必要であった箇所を記録しました。記録頂いた内容については各班長による編集の後、事務局より参加者皆様に共有させていただきます。

また、改善が必要であった箇所については、ヤシ土嚢（10 袋／各班）とヤシ繊維（約 1kg／各班）を使用し、補修作業を行っております。

■作業風景



【ヤシ土嚢への植物の侵入状況】



【ヤシネットへの植物の侵入状況を観察】



【砂防ダムの効果により土砂が堆積】



【1班 ヤシ繊維を混ぜた土嚢の設置】

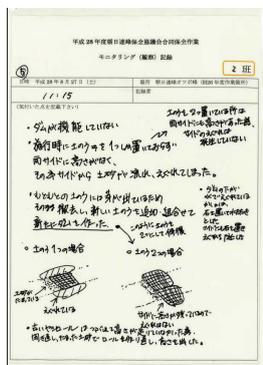
【2班 洗掘された流路の修復】

【3班 破れが見られた土嚢の補修】

1班（作業地最下流）では、設置していた土嚢の多くの箇所ですぐ植物の芽生えを確認。土嚢がプールを作り土砂を留めている様子が確認でき、流路の深掘れ対策に効果が見られました。また、排水工についても土砂に埋もれることなく、期待通り機能していることが確認されました。補修については、前回、登山道へ土留めを目的に設置していた土嚢が上手く機能しており、土砂の堆積が見られたため、次のステップとして、登山道へのさらなる土砂の堆積を目標に、追加で土嚢を設置しました。

2班（作業地中流）では、洗掘された流路へ土嚢を設置していた箇所において、土嚢の脇へ水が流れたことによる新たな浸食が見られたことから、前回施工した土嚢袋の移動や、土嚢の追加により、流路の脇固めを行いました。その際、より流路幅の狭い箇所へ土嚢を設置することにより、土嚢の必要数を節約しました。また、排水工が土砂で埋まっていたため、この復元も行いました。

3班（作業地上流）では、ヤシネットにハイマツの蕾が確認され、ネット固定のための重りとして設置した石の陰にも植物の侵入が見られました。2年前に施工した場所に土砂が平面的に溜まり、砂防ダムのように土砂を留めていることも確認されました。ヤシネットや土嚢に破けが見られた箇所では、ヤシ繊維による間詰めや土嚢袋の追加による補強を行いました。



【記録の例】



【ふりかえりの様子】



【集合写真】

今回の作業には12団体、22名の方々に作業に参加がありました。雨天の予想もありましたが、当日は天候に恵まれ、無事予定していた作業をおえることができました。

幹事の鶴岡山岳会の高橋実氏には当日の統括リーダーとして全体の指揮監督、大鳥小屋管理人の佐藤義幸氏には前日の宿泊について、子細に渡りご協力いただきました。また、林野庁東北森林管理局朝日庄内森林生態系保全センター、環境省東北地方環境事務所より資材提供がありました。作業に関わっていただいた山岳関係者の皆様、地域の皆様に厚く御礼申し上げます。

【参考ホームページ】

- ・環境省 磐梯朝日国立公園 各種資料
(朝日連峰保全協議会の会則やニュースレター等)
<http://www.env.go.jp/park/bandai/data/index.html>
- ・東北地区アクティブレジャー日記
<http://tohoku.env.go.jp/blog/>

【発行者】
 朝日連峰保全協議会（事務局）羽黒自然保護官事務所 しももと ふるかわ
 〒997-0141 山形県鶴岡市羽黒町荒川字谷地堰 39-4
 TEL : 0235-62-4777 ・ 080-2801-0648 FAX : 0235-62-4537 E-mail : RO-HAGURO@env.go.jp